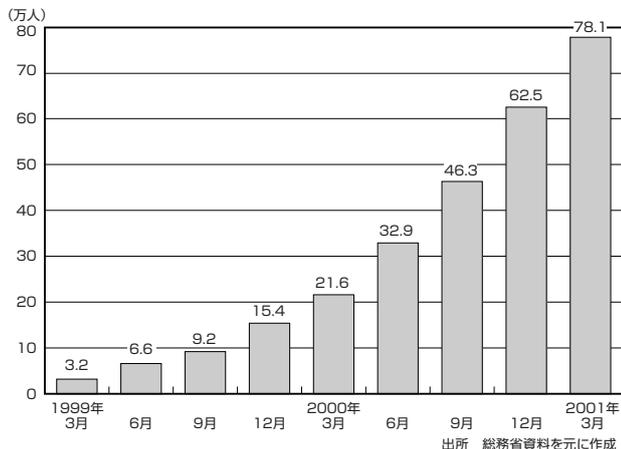


第1章 通信ネットワーク

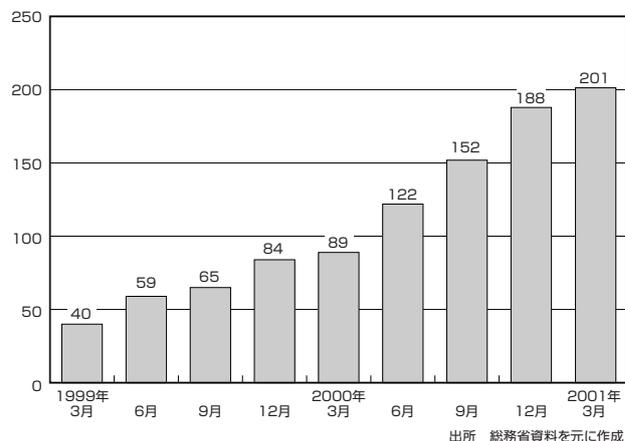
CATV①

2001年3月で利用者78万1000人に

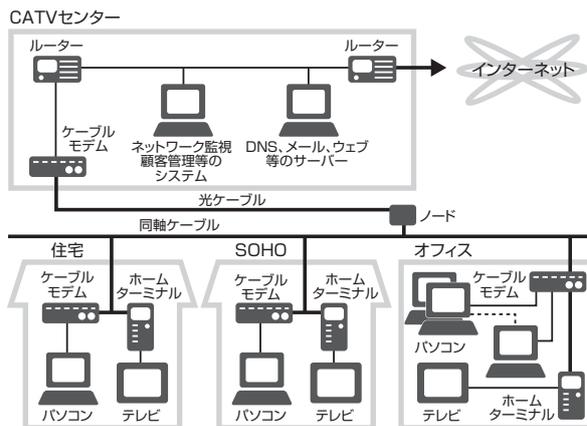
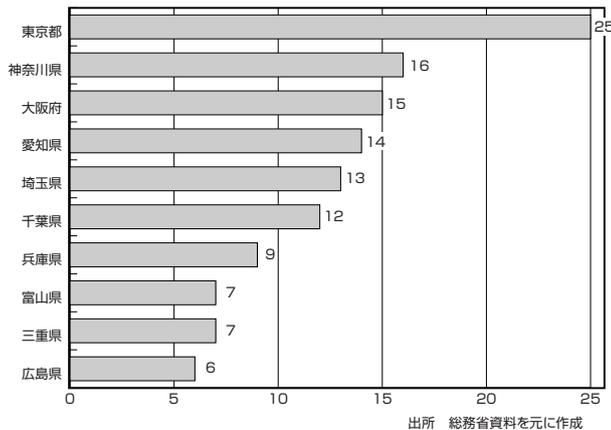
資料4-1-15 CATVインターネットの利用者数推移



資料4-1-16 CATVインターネットサービス事業者数の推移



資料4-1-17 CATVインターネットを提供している第一種電気通信事業者の多い都道府県



解説

総務省の調べによると、1998年11月に約2万1000加入だったCATVインターネットの利用者数も1999年末には約15万4000加入、2001年3月には78万1000加入と圧倒的に高い伸び率を示している。昨年後半は毎月3～4万加入程度の増加であるが、今年度は毎月5～7万加入程度の増加が見込まれる（資料4-1-15）わが国では1996年10月から始まり、2001年3月には201社で提供されているCATVインターネットは、1本の同軸ケーブルを家庭に接続することで「高速・常時接続・利用料定額・複数パソコン同時利用可

能・電話代不要」という魅力的なインターネットの火付け役となった。（資料4-1-16）また、同じケーブルを使って従来どおり多チャンネルのテレビ放送も視聴でき、さらに電話サービスを提供しているCATV事業者もあることから通信サービスのみのADSLやFTTHとは一線を画する。サービスを提供しているCATV事業者を地域別にみると、資料4-1-17のとおりとなり、前年と同様に関東、関西、東海圏でのサービスの伸びが著しい。全国的に利用者数は勢よく伸びる傾向にあるが、自主放送を提供するほとんどの

CATV事業者がインターネットサービスを提供してしまったため、今後提供事業者数の伸びは鈍化するとみられる。

CATVインターネットの一般的なシステム構成は、通常のプロバイダーと同様、上位にはルーターを介して専用線で接続し、各種サーバーおよびネットワーク監視装置などの機器がCATVセンターに配置される。CATV網を介してセンターとユーザーを接続するために必要となるものがケーブルモデムで、ネットワーク全体を広域LANとして通信制御する（図1）。

（山添亮介 KMN株式会社 代表取締役社長）



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp